



今城 克啓 議員

陸地面積の72%を占める森林の整備と活用について

問

市内産木材を使った家づくりをどのように推進していくのか。

答

森林認証材を始めとした市内産木材の利用促進に努めてまいります。

高島市の森林は、貴重な水源であるとともに、様々な産業を育み、地域経済の活性化に欠かせない役割を担っている。

市内産木材を家づくりや公共建築に使用すると、市内の様々な業種の方々がかわる機会が多くなり、地域経済を活性化する効果が高くなる。今後どのように木材の流通体制の強化や市内産木材を使った家づくりを促進していくのか。

答

農林水産部長

木の家づくりネットワークでの協議を踏まえつつ、市で創設した地域材活用住宅応援事業補助制度の見直しの検討を始めており、森林認証材などの市内産木材の利用促進に努めてまいります。

問

木の家づくりの相談窓口の機能や消費者へのアピールを強化しては。

答

農林水産部長

各事業者の連携が重要だと考えており、課題も踏まえて、今後のあり方を検討してまいります。

問

道路沿いの倒れやすい人工林を対象に予防伐採の範囲を拡大し、インフラ被害を未然に防止するとともに、山村や森林の景観を向上させては。

答

農林水産部長

モデル的な予防伐採の取り組みに、5か年を目途に着手しています。

問

経済効果を高めるために体験プログラムの実施を進めるなど、高島市の森林や林業を観光素材としてさらに活用しては。

答

農林水産部長

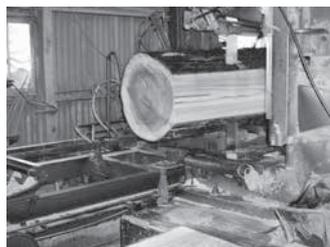
ワーケーションの推進や健康経営に取り組む企業の誘致

に向けて、森林セラピー事業やクアオルト健康ウォーキング事業に取り組んでおり、今後も推進してまいります。

森林・林業を担う人材の確保と育成をどのように進めていくのか。

答 農林水産部長

県の「滋賀もりづくりアカデミー」や、国の「チャレンジ雇用・緑の雇用制度」を活用し、担い手の発掘に努めています。



市内産木材の製材



市内産木材をふんだんに使った家